

PRESTO™ A80t

20Lのガラス反応容器を +150°Cから+20°Cまで冷却運転

目的

このケーススタディは ユラボPRESTO™ A80 t の冷却能力を 20 L のガラス反応容器でテストしたものです。
ユラボPRESTO™ A80tを1mのメタルチューブ2本で20 L のガラス反応容器に接続し +150°Cから+20°Cまで冷却するようにプログラムされています。

環境

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	208 V / 60 Hz

テスト条件

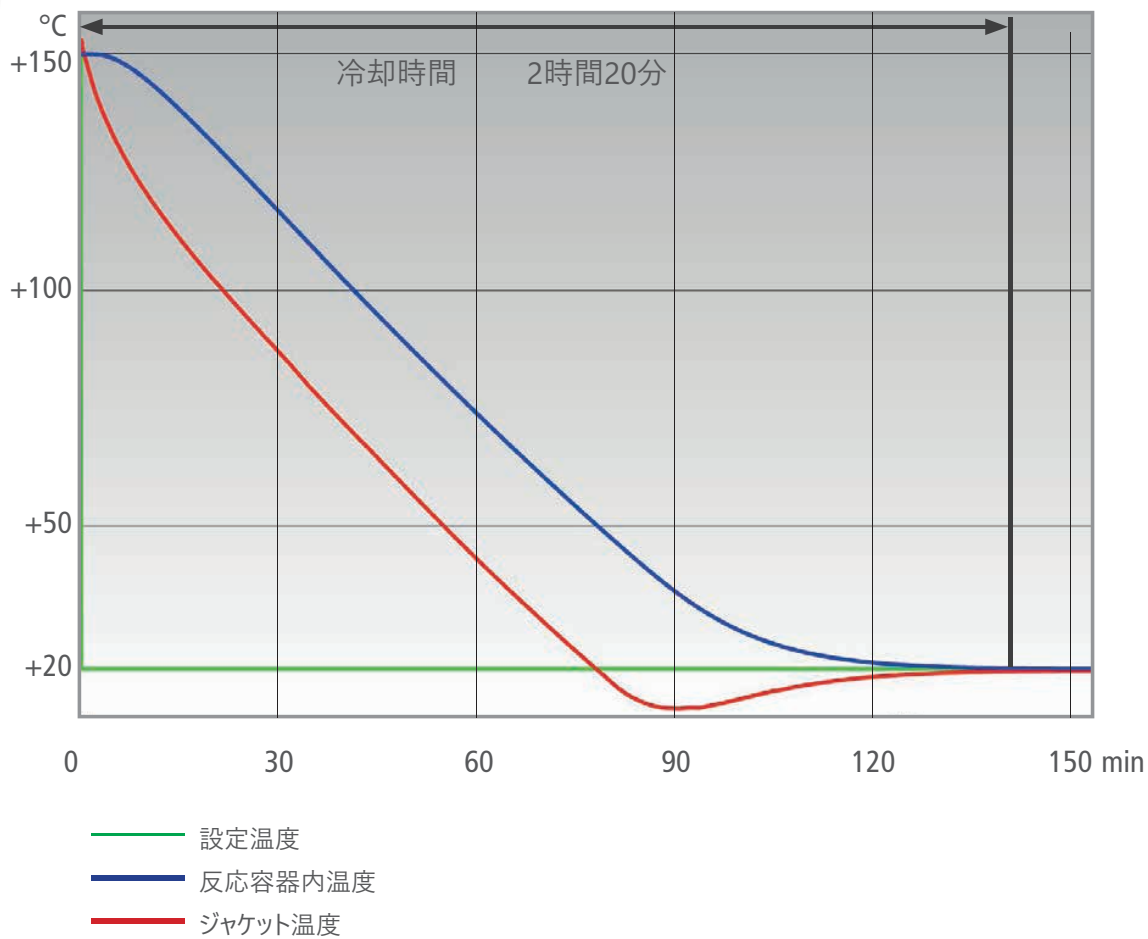
ユラボ装置	PRESTO™ A80t
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW -20 °C 1.1 kW
加熱能力	3.4 kW
バンドリミット	有り
吐出圧	0.5 bar
循環液	ユラボサーマル HL80
反応容器	20Lガラス反応容器(Asahi) 19LのサーマルHL80で満たしています
ジャケット容量	7L
温度制御	外部温度制御(ICC)



テスト結果

PRESTO™ A80 t の冷却プロセスは+150°Cから+20°Cまで2時間20分でアンダーシュートすることなく到達しました。

EasyTEMP Professional で測定



情報

PTFEコーティングされた Pt 100センサーが使用可能です。



情報

無償のソフトウェア EasyTEMPを使用し、装置の制御及び温度曲線をグラフ表示することができます。

EasyTEMP

